

保健師

妊婦・赤ちゃんからお年寄りまで、すべての方の健康づくりを支援

平成21年度入庁

保健局

泉野福祉健康センター



現在の業務・これまでの業務経験

福祉健康センターの保健師は、小学校下ごとに担当が決まっています。自分の担当する校下の健康実態を踏まえ、妊婦・赤ちゃんからお年寄りまで、すべての方の健康づくりを支援しています。

母子保健や生活習慣病予防、精神保健など様々な業務を経験し、東日本大震災の際には、被災地支援にも行きました。また、外郭団体に出向し、健康増進の普及啓発などの業務も経験しました。

これまで担当した仕事を振り返って一番印象に残った仕事は？

初めて事業の企画から開始・運営まで担当したのが、「わたしの健康ポイント事業」でした。ようやく事業が開始したときの達成感と市民の方が楽しそうに参加して下さる姿が印象に残っています。

仕事でのやりがい・苦勞を感じたことは？



妊婦・赤ちゃんからお年寄りまでを対象に、幅広い知識が必要となるため、支援方法に悩むこともたくさんありますが、支援によって市民の方の悩みが晴れた瞬間の笑顔を見られたときにはやりがいを感じます。

職場の雰囲気は？



日頃から職員同士でコミュニケーションをとり、情報交換を行っています。支援方法に悩むこともありますが、上司・先輩へ相談しやすい雰囲気、的確なアドバイスをもらえるため、安心して業務を行うことができます。

仕事と家庭・プライベートの両立は？

仕事の悩みは家庭に持ち込まないよう、退庁時には気持ちを切り替えるように心がけています。休日のほか、ときには有給休暇や夏期休暇なども活用して家族や友人との時間を大切にしています。

金沢市役所を志望した理由は？

金沢市の保健師を目指したきっかけは、病気になる前の予防・早期発見の視点で、生まれ育った金沢市の健康づくりに貢献したいと思ったからです。また、夜勤がなくワークライフバランスが取りやすいことも魅力に感じました。

金沢市職員の技術職の魅力は？

専門職として、日々発展する医療や変化する法律に対応するため、常に自己研鑽が必要です。金沢市では新任保健師だけでなく、すべての保健師にその経験・立場に応じた育成体制が整備されています。

メッセージ

保健師はどの配属先でも、その専門性を生かした仕事ができます。配属先や担当する校下によって違った健康課題が見えてくることもあります。金沢市で暮らす方の健康のために、一緒に働きましょう。

ある日のタイムスケジュール

8:30～	9～	11～	12～	13～	14～	15～	16～	17～	17:15
メール確認	乳幼児健診	昼休憩	事務処理	家庭訪問	支援記録作成				退庁